

昭和39年6月20日第3種郵便物認可（毎月1回1日発行）ISSN 1344-5537  
平成21年8月1日 茨城県林業改良普及協会・茨城県林業協会 発行

# 林業いばらき



ダイレクトカーボンオフセット  
の森づくり  
長期優良住宅と県産材の利用について

No.625  
2009

8

# ダイレクトカーボン オフセットの森づくり

株式会社 岩井化成

日本百名山に数えられる筑波山の麓、石岡市で去る三月二十六日に、植樹祭を行いました。

当社は、県内坂東市で主にゴミ袋などポリエチレンの袋を製造しているメーカーです。また、使用済みポリエチレンを、資源回収し再生して、また袋に戻す循環型リサイクルを行っています。使用済みの農業用ハウスを洗浄・再生して作ったエコマーク商品のごみ袋「農強ダストパック」など、廃ポリの「地産地消」をモットーに国内限定リサイクルを目指し事業展開をしています。



▲「清風の森」看板の設置

今回の植林は、カーボンオフセットを行うことが目的で、「農強ダストパック」の生産で排出された二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)を植林した木に吸収してもらい、炭素の穴埋めをする仕組みです。

「清風の森」の誕生  
植林に先立って、土地所有者との土地使用

借地契約、横田凱夫石岡市長との森林保全活動に関する協定、木崎眞つくばね森林組合理事組合長との森林施業管理委託などを内容とする調印式を行いました。「清風の森」と名づけた1haの森に、ナラの木一、五〇〇本、桜の木八〇本を植樹しました。



▲植樹風景

当日は、当社でのリサイクルの分別などの作業をしていく福祉作業所の皆さんをはじめ総勢八〇人ほどのボランティアが集まり、朝日里山学校を出発しました。現地では地元・つくばね森林組合の皆様から、植樹のやり方を指導していただき、にぎやかに行いました。

参加者の笑い声が山に響き、初めての作業に戸惑いながらも、楽しく植えることができました。

今後は植樹数を増やし、「農強ダストパック」製造時に発生するすべてのCO<sub>2</sub>を吸収できる森づくりをめざしていきます。

現状のカーボンオフセットは海外の植林事業や風力発電を対象にしたものが多いなか、この取組みは、茨城で排出したCO<sub>2</sub>を、「清風の森」でダイレクトにカーボンオフセット

することを目的にしたものです。「農強ダストパック」についてはライフサイクルアセスメント(LCA)を行い製造時のCO<sub>2</sub>排出量を算出しました。その結果、バージン原料を使ったゴミ袋の製造に比べ六五%発生量が少ないことが判りました。



▲参加者記念撮影

この事業を始めて、森林の育成が、地球温暖化防止に作用する重要な要因のひとつであると気づきました。日本の国土の二／三以上を占めている森林が間伐等の手入れ不足により、危機的な状態になっています。その改善策として、企業が削減できないCO<sub>2</sub>を森で吸収できるシステムを広げ、間伐材を化石燃料の代替品に利用するなど、持続可能な森林の育成が地球温暖化防止に重要な役割を担っていると思われました。